

**新型コロナウイルス禍で 不安をかかえる妊婦を応援するため
お腹の赤ちゃんに特別定額給付金の支給を要望します。**

新型コロナウイルス感染症対策に、日夜御尽力賜り心より御礼申し上げます。

私どもは妊娠・出産に悩む妊婦の方々の無料電話相談「妊娠SOSほっとライン」を開設すると共に、国民の皆様からひと口1円のご寄付を頂き、これを「円ブリオ基金」と名付け、国内唯一のお腹の赤ちゃんと妊婦さんの命を守る基金として、出産費・健診費の支援をして、これまで全国で813名(R2, 8/末現在)の赤ちゃん誕生に寄与してまいりました。

新型コロナウイルス禍の中、私どもの「妊娠SOSほっとライン」にも、妊婦さん本人の失職や夫の減収等で困窮した等の相談が多数入ってきています

このような中、全国の自治体からコロナ禍における妊婦と赤ちゃんを応援する新たな動きが出てきています。愛知県大府市では、特別定額給付金の趣旨を踏襲し、令和3年4月1日迄に生まれる赤ちゃんにも市独自で10万円を決定、大阪府貝塚市では「胎児一人あたり10万円」と発表、市長は「お母さんの体に宿った命は明日への希望の光」と呼びかけています。富山県では、富山市で来年4月1日までに生まれる赤ちゃんに10万円の給付が決まっています。

さらに内閣府子ども・子育て本部からも、都道府県少子化対策担当部局に、7月27日付で事務連絡が出され、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は、不安を抱える妊産婦や新生児などへの給付金の支給が可能と、示唆がなされています。

すべての人生は例外なくお腹の中の胎児期から始まり、お腹の赤ちゃんも私たちと同じ大切な市民です。コロナ禍であっても、授かったいのちを安全に安心して未来につながなければなりません。

妊娠・出産は、平時であっても不安が大きく、ましてや誰も経験したことのない新型コロナウイルス禍の中、自身とお腹の赤ちゃんを守りながら妊娠期を過ごし、出産を迎える妊婦さんの不安、心労ははかりしれません。コロナ禍においても、妊婦が安心して赤ちゃんを産み育てられるよう、社会全体で妊婦と赤ちゃんを応援する「おなかの赤ちゃんへの特別給付金」を要望します。

- 1、コロナ禍においても、妊婦さんが安心して赤ちゃんを産み育てられるよう、おなかの赤ちゃんへの特別給付金を要望します。(※既に実施が決まっている自治体：別紙)

令和2年9月 日

いとしい生命を守る会富山 代表 窪田 真弓
(連絡先) 〒937-0815 魚津市大海寺新276

※ご多用の折恐れ入りますが、回答書を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



基金箱を広げ赤ちゃんを温かく迎える町へ



一人がポンと
一億円を出すより
一億の人が一円を出して
お腹の赤ちゃんを救うほうが美しい



コンビニ店（大分）



保健センター（滋賀）



家庭に1つの基金箱を（長崎）



小学校で基金箱
作り（福山）



街頭キャンペーン（旭川）

円ブリオ基金とは？

エンブリオとは8週までの胎児のこと。身長2センチ、体重は1円玉と同じ1グラムのお腹の赤ちゃん。国民の皆さまから“ひと口1円”の拠金を頂き、妊娠に悩む女性の相談にのって、出産費用をサポートします。1円の“円”と“エンブリオ”の“エン”をかけて「円ブリオ基金」と命名。1億人が1円を出してみんなで赤ちゃん誕生を喜ぶ社会をめざしています。

私たちも応援しています



プロゴルファー
東尾理子



漫画家・エッセイスト
高野優



諏訪中央病院名誉院長
鎌田寛



ダウン症の画家 金澤裕子さんの母
金澤泰子



俳優
竹下景子



J1生命科学研究館館長
中村桂子



元アナウンサー、千葉県警捜査官
宮田修



筑波大学名誉教授
村上和雄



慈恵病院理事長
蓮田太二

賛助会員（年間1万円）・ご寄付を募ります

お腹の赤ちゃんと妊産婦をサポートする社会をめざす活動を支える会員を募集しています

〈会員特典〉

- ・『生命尊重ニュース』（毎月1回発行・1年間）
- ・円ブリオ基金箱・ポスター・バッジ・円ブリオ通信

【郵便振替】

口座番号 00150-9-415477
口座名 NPO法人円ブリオ基金センター

NPO法人 円ブリオ基金センター

〒102-0076 東京都千代田区五番町2-15 第一星光ビル201号
TEL&FAX 03-3239-0322
<http://embryokin.com>

1円で救えるお腹の赤ちゃん

円ブリオ基金

生まれてくれて
ありがとうございます
生んでくれて
ありがとうございます



イラスト
高野優



NPO法人
円ブリオ基金センター

授かるいのち つなぐよろこび 皆さまの ① 円で 743 人の赤ちゃんが誕生しました (R1.6.11)

生れてくる子どもは希望

今回の妊娠では経済的なこともさることながら、何より本当に産んでいいのか、家族にも産まれてくる子どもにも負担・迷惑をかけるだけではないかという不安と葛藤がありました。迷っていた時に、円プリオの方から頂いた「生まれてくる子どもは希望になります」というお言葉がなければ、今、この子はここにいなかったと思います。

元気にゴクゴク音をたてておっぱいを飲んでくれる姿や笑顔を見ると、本当に産んでよかったと思います。感謝の気持ちを大切に皆で頑張っていきたいと思います。(M)

生んでよかった

何度も何度も生む事を悩みましたが、円プリオに電話をかけて悩みを聞いてもらい、迷っていた私の心は産む！と覚悟に変わりました。不安でしかたなかったけど、子どもの産声を聞いた時に「生んでよかった」って心から思いました。(Y)



お腹の赤ちゃんは社会の一員です

災害時の妊婦さんも支援しています！

3 人を助けていただいて (東日本大震災・宮城県 Oさん)

お腹の中にあなたがいたから頑張れた。手持ちが不安で、一時は出産はできないかもしれないとあきらめかけていましたが、円プリオ基金様と出会って、今いる2人の子供達とおなかの子供の3人を助けて頂き、国よりも早い対応で本当に救われました。ありがとうございます。



4 歳になりました

4年前のあの日、出産費用をどうしたものか、夫にも実家にも頼むまいと、大きくなるお腹もさりなかつた、毎日悩んで送って送って、ふとインターネットでたどりついた基金センターへ電話を掛けて連絡したのが、始まりでした。誰にも相談できなかった。これは金銭的にも困っていることよりも、大に重宝でした。産後、話せばいい、心が軽くなって頑張れるという気が、湧いてくる瞬間を今でもよく覚えています。このご縁を

相談で救える命があります

「妊娠SOSほっとライン」(初期の相談)

は は こ に
☎ 0120-70-8852 火・木曜日 10:00~16:00



産みたいけど...

反対がある...
若すぎる...

経済的なことが
心配...

※支援は必要書類を整え、運用委員会の審議を経てなされます。
(対象は非課税世帯、所得 200 万円以下の世帯)

1993	9 マザー・テレサが再来日されたのを契機に生まれた生命尊重センターが母体となり発足(名付親 鈴木健二)	あゆみ
1995	1 阪神・淡路大震災で6人の赤ちゃんとお母さんを応援	
2002	3 NPO法人となる	
	7 ドイツの赤ちゃんポスト・妊娠葛藤相談所の視察	
	11 全国27ヶ所で「妊娠SOSほっとライン」を実施	
2003	10 アメリカの妊娠相談センター(A&A)の視察	
	12 東京都社会福祉協議会より、地域福祉支援員献団体賞受賞	
2004	10 新潟中越地震で母子支援	
2005	5 参議院少子化調査会で、妊娠葛藤相談窓口の必要を提言	
2006	3 「家族・地域の絆再生」政務官会議で妊娠葛藤相談窓口、赤ちゃんポストの必要を提言	
2008	4 円プリオレター「1円玉が赤ちゃんを救います」作成	
	4 1円玉ソング「いのち小さないのち」、円プリオパッション作成	
2009	12 出産費・健診費無料化の活動	
2013	3 東日本大震災の被災妊婦78名支援	
2016	6 田村厚生労働大臣に「新型出生前診断に関する要望書」を手渡す	
2018	11 日本赤十字社より金色有功章を受賞	
2019	4 熊本地震の被災妊婦27名支援	
2020	7 西日本豪雨の被災妊婦4名支援	
	6 支援で誕生した赤ちゃんは743人	
	名誉会長 遠藤順子(作家)	
	理事長 湯原美陽子(ケバクカリタス修道女会)	